

稲城市

ちょうさ
生きもののフォト調査

ちょうさ
— 市民調査マニュアル —



生きものを見つけて、
写真に撮って報告しよう!!



もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

生きものフォト^{ちようさ}調査の方法・・・・・・・・・・・・ 1

調査^{ちようさ}の準備^{じゆんび}・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

生きものを探^{さが}す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

生きもの情報^{じようほう}の記録・・・・・・・・・・・・ 4

見つけた生きもの^{ほうこく}の報告・・・・・・・・・・・・ 5

稲城市で見られる生きもの・・・・・・・・・・・・ 7

いなぎ生きもの^{かんきょう}環境マップ・・・・・・・・・・・・ 20



© K.Okawara · Jet Inoue

さあ、
^{ちようさ}
「調査マニュアル」を
もって、稲城の自然の
中へ出かけよう！
新しい発見がきっと
あるよ♪♪

はじめに

稲城市には、樹林^{じゅりん}、草地^{くさ}、水辺^{みづべ}などのさまざまな自然環境^{かんきょう}があり、そこにはいろいろな生きものが生息^{せいそく}しています。

この調査^{ちようさ}マニュアルは、生きもの調査^{ちようさ}をとおして、だれもが手軽^{ていせう}に生きものとふれあい、自然環境^{かんきょう}について関心^{かんしん}・理解^{りかい}を持つことにつながることで、市民^{しみん}のみなさんにおよせいただいた稲城市内の生きもの情報^{じようほう}などを活用^{くわつう}し、自然豊かな稲城市を将来^{しやうらい}世代^{せだい}にひきついでいくことを目指^{めざ}しています。

みなさんのご参加、ご協力をお待ちしています！



生きものフォト調査^{ちようさ}の手順

① 野外^{がい}で生きものを探^{さが}そう！（p 3参照）

野外^{がい}に出かけて、生きものを探^{さが}そう！

※すべての生きものが対象です。



② 生きもの情報^{じようほう}を記録^{きろく}しよう！（p 4参照）

見つけた生きものの写真^{しやうしん}をとろう！また、見つけた日時^{にちじ}や場所^{ばしょ}などをメモしておこう。



③ 見つけた生きもの^{ほうこく}を報告^{ほうこく}しよう！（p 5参照）

インターネット上の「いきものログ」を利用して、見つけた生きもの^{じようほう}の情報^{ほうこく}を報告^{ほうこく}してください。



ちょうさ じゅんび 調査の準備

もちもの



デジタルカメラ
スマートフォン



ちょうさ
調査マニュアル
(このパンフレット)



筆記用具
(メモ帳・えんぴつ等) (のみもの)



すいとう
水筒

<あると便利なもの>

そうがんきょう
双眼鏡、タオル、虫よけ、雨具、タモあみ・虫あみ・魚あみ など

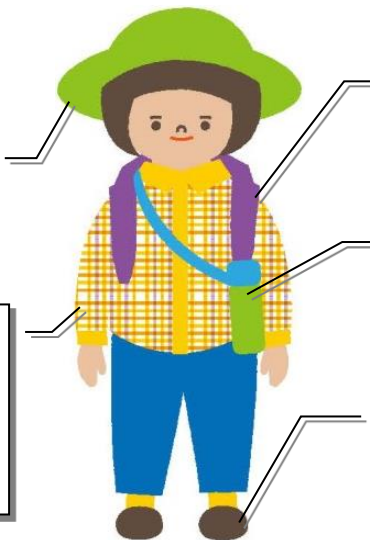
服そう

ぼうし

とくに夏はわすれ
ずに!

長そでの上着、 長ズボン

虫さされや、植物のト
ゲによる刺しキズや
かぶれ、すりキズを
ふせぎます



リュックサックなど
両手が使えるので
便利!

水筒(すいとう)

特に夏は、水分を
まめにとるようにし
よう!

運どうぐつ、長ぐつなど
すべりにくく歩きや
すいくつ

野外での注意点

- できるだけ二人以上で出かけよう。特に小学生は、ほごしゃ保護者、学校の先生など、大人の人といっしょに行くようにしよう。
- 流れの速い川、水路や池の深い場所、草木のおいしげった道のない森の中など、少しでも危険を感じる場所には近よらないようにしよう。
- 他の人の家の庭や田んぼの中に、勝手に入るのはやめよう。

さが 生きものを探す

野外で生きものをさがすときは、なんとなく見るのではなく、生きものの気持ちになってさがしてみよう！

■ 樹林

樹液じゆえきのでる木には、カブトムシやカナブンなど昆虫こんちゆうが集まります。また、枝や丸太えだがつんであるところにもカミキリムシなど多くの虫が集まります。



■ 草地

明るい草地にはバッタやカマキリなどがすんでいます。葉っぱの表だけでなく、裏うらにかくれていることもあります。また、花が咲いているところには、チョウやハナアブなどがミツすを吸いにやってきます。



■ 水辺

水深すいしんの浅いところにある石いしの表面ひょうめんやうら側がわには、カゲロウやカワゲラの幼虫ようちゆうなどが見られます。



■ まちなか

まちなかでも生きものがくらしています。住宅じゆうたくの庭にわや生垣いけがき、街路樹がいろじゆなどをよく観察かんさつすると、野鳥やちようや昆虫こんちゆうなど意外いがいに多くの生きものが見られます。



野外きけんにいる危険きけんな生きものに注意！

もし、スズメバチが体にとまったら、むやみにふりはらわず、飛び去るのを待ちましょう。マムシを見かけたら、近づかないようにしましょう。



スズメバチ



マムシ

生きもの情報の記録

野外で生きものを見つけたら、生きもののお名前を調べ、生きもののお名前とともに、「いつ」、「どこ」で見つけたか、などの情報を記録します。

調査票（下記参照）を稲城市のホームページからダウンロードすることもできます。忘れないうちに、記録しておこう！

<稲城市 生きものフォト調査 調査票>

市ホームページ「サイト内検索」で検索！



検索の使い方

生物多様性

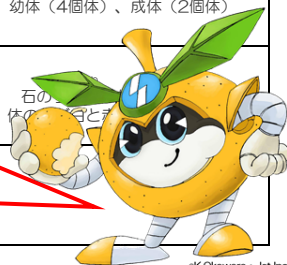
検索

<記入例>

稲城市 生きものフォト調査 調査票

(氏名: いなぎ なしのすけ)

No.	日付	場所	生きものの種名	数	メモ
1	2014年 10月3日	みさわがわ 三沢川 (市役所前)	カワセミ	1	こぶかな 小魚をとっていた。
2	2014年 10月3日	たまがわ 多摩川 お那保ふるやうすいげき (大丸用水堰 下流右岸)	オイカワ	11	ちびよ あさせ 5cm前後の稚魚が浅瀬で泳いでいた。
3	2014年 10月10日	いなぎちゆうおうこうえん 稲城中央公園	タヌキ	1	かしょ ためフンが2箇所で見られた。
4	2014年 10月10日	しろやまこうえん 城山公園	ヒガシニホン トカゲ	6	ようたい (4個体) せいたい (2個体) 幼体 (4個体)、成体 (2個体)
5	2014年 10月10日				よく観察して、生きものを見つけたときの状況をくわしく記録してね。
6					



©KOkawara - Jet Inoue

見つけた生きものの報告

稲城市内で見つけた生きもの情報は、環境省が管理・運営するインターネット上の「[いきものログ](#)」を利用して報告します。ここでは報告方法の一例を紹介します。（お子さんは、保護者の人や学校の先生などに手伝ってもらいながら報告してください。）

「いきものログ」にアクセス

パソコンやスマートフォンからインターネットに接続し、「いきものログ」にアクセスします。（<http://ikilog.biodic.go.jp/>）（※次ページ参照）

報告ページに移動

トップページにある「[生物情報を報告する](#)」ボタンをクリックし、報告ページに移動します。※はじめて利用する場合はユーザー登録が必要です。

報告方法の選択

「[1件ずつ報告する](#)」ボタンを選びクリックします。
※このほかに複数のデータをまとめて報告する方法もあります。

見つけた生きものの情報を入力

入力画面にしたがって、「[基本情報](#)」、「[生物種情報](#)」を入力します。
また写真があれば、写真データを添付します。
※調査カテゴリは「[いきものログ報告](#)」を選んでください。
※確認場所の登録方法は、[地図から位置を指定する](#)方法をおすすめします。
※「[詳細情報](#)」については、わかる範囲で入力しましょう。
※写真データは、データのサイズを変えずに登録できます！
※種名、確認日時・場所などだけで、写真がなくても報告できます。

報告内容の確認

入力した内容を確認し、「[報告確認](#)」ボタンをクリックします。
これで終わりです！

※くわしい内容は、「いきものログ」のホームページにある解説ページ「このサイトの使い方」を読んでください。

「いきものログ」について

「いきものログ」とは、環境省が、日本全国のいきもの情報を収集・提供するために、インターネット上に展開しているシステムです。

皆さんの報告が集まって出来上がったデータは、一部の希少種の詳細な位置情報を除き、いつでも・誰でも見ることができます。

<留意事項>

※希少種の詳細な位置情報は自治体以外には公開されませんので、安心して登録してください。

※情報の登録は、すべて個人の好意にたよっているため、種名等の情報の正確さを保証するものではありません。



©K.Okawara・Jet Inoue

生きものの名前に自信がない時は、インターネットや図鑑で調べたり、友だちや先生に聞いてみよう！

見た目以外にも、**見つけた場所**（樹林、水辺、草原など）や**季節**も調べる手がかりになるよ！

稲城市で見られる生きもの

稲城市内には、さまざまな樹林や草地・水辺などの自然環境があります。みなさんも、身近な自然の中で、いろいろな生きものを見つけてください。ここでは、稲城市に生息する生きものの一部をご紹介します。



© K.Okawara・Jet House

紹介していない生きものも、たくさん見つけて、報告してね。

マニュアルで紹介している生きもの

分類	種名	よく見られる環境				ページ 解説
		樹林	草地	湿地 水辺		
植物	ヨシ			●	8	
	オギ		●		8	
	ススキ		●		8	
	ヤマユリ	●			9	
	タマノカンアオイ	●			9	
ほ乳類	タヌキ	●	●	●	10	
	キツネ	●	●	●	10	
鳥類	ツバメ		●	●	11	
	コゲラ	●			11	
	シジュウカラ	●			12	
	カワセミ			●	12	
は虫類	ニホンカナヘビ		●		13	
	ヒガシニホントカゲ		●		13	
両生類	トウキョウダルマガエル			●	14	
	ツチガエル			●	14	
	ニホンアマガエル	●	●	●	14	
	シュレーゲルアオガエル	●	●	●	14	
	ニホンアカガエル	●	●	●	15	
	ヤマアカガエル	●	●	●	15	
	アズマヒキガエル	●	●	●	15	
魚類	ミナミメダカ			●	16	
	ドジョウ			●	16	
甲殻類	サワガニ			●	17	
貝類	カワナナ			●	17	
昆虫類	オオムラサキ	●			18	
	シオカラトンボ			●	18	
	ヤマトタマムシ	●			19	
	トノサマバッタ		●		19	

ヨシ・オギ・ススキ（イネ科）



ヨシ※

<大きさ>

100～250cm

<よく見られる場所>

しめった草原



オギ※

<大きさ>

100～200cm

<よく見られる場所>

かせんじき
河川敷などのややしめった草原



ススキ※

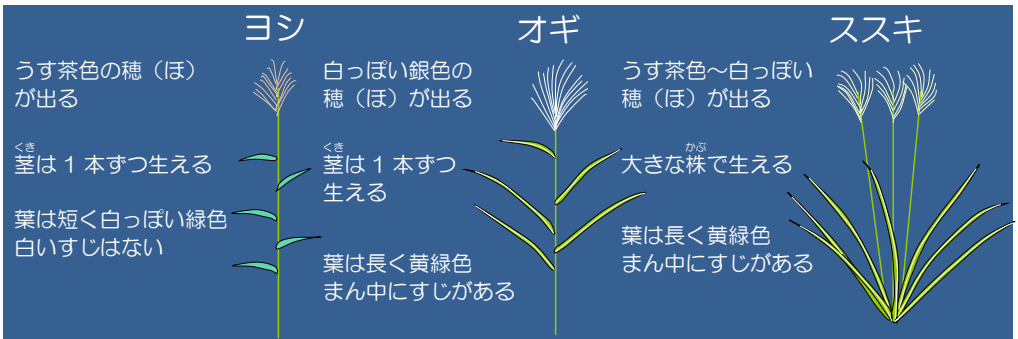
<大きさ>

100～200cm

<よく見られる場所>

かわ あれち
やや乾いた荒地や砂れき地

<ヨシ・オギ・ススキの見分け方>



写真出典：（※）（公財）日本生態系協会、（※※）市民提供写真、（無印）市内で撮影した写真

ヤマユリ（ユリ科）



<大きさ>

100~200cm

<よく見られる場所>

山や丘陵の日当たりのよい
斜面

<よく見られる時期>

夏（花が咲く時期）

<特徴>

日本原産のユリの仲間で、近畿地方から東北地方まで広く分布しています。ユリの中でも最大級の大きさで、草丈は1~2m、花は直径20~25cm位になります。7月に1本の茎から1~10の花を咲かせます

タマノカンアオイ（ウマノスズクサ科）



<大きさ>

20 cm

<よく見られる場所>

樹林地

<よく見られる時期>

春（花が咲く時期）

<特徴>

関東地方の西南部の丘陵の林内に生える多年草。花は3~4月に咲きます。葉は長い柄をもち、表面は光沢があり、しばしば白色のはんもん（まだらな模様）があります。タマノカンアオイは多摩丘陵と周辺部にのみ生育する種ということで、名前の由来となっています。近年、生息地の減少により、数が急激に減少し、絶滅危惧種に指定されています。

タヌキ（イヌ科）※



<大きさ>

70 cm（頭から尾のつけ根まで）
（尾の長さ：50 cm）

<よく見られる場所>

林や草原

<よく見られる時期>

一年中

<特徴>

足は短く、目のまわりは黒色をしています。巣穴は自然にできた穴やキツネすあながほった穴、建物の床下などをよく利用します。タヌキがいる場所には、何匹なんびきも同じ場所にふんをする「ためふん場」が見られます。

キツネ（イヌ科）※



<大きさ>

70 cm（頭から尾のつけ根まで）
（尾の長さ：50 cm）

<よく見られる場所>

林や明るい草原

<よく見られる時期>

一年中

<特徴>

木の実や昆虫こんちゅう、ネズミ、鳥、ウサギなどを食べます。主に夜に行動しますが、危険きけんがないと日中も行動することがあります。オスは目立つものに、においの強い尿にょうをかけて、なわばりしめを示します。

ツバメ（ツバメ科）※



<大きさ>

全長 17 cm

<よく見られる場所>

草原や水辺

<よく見られる時期>

春～秋

<特徴>

飛んでいる昆虫などを空中でつかまえます。また、水面上を飛行しながら水を飲みます。泥と枯れ草をだ液で固めて巣を造ります。人家の軒先にも、よく巣をつくります。

コゲラ（キツツキ科）※



<大きさ>

全長 15 cm

<よく見られる場所>

雑木林や屋敷林

<よく見られる時期>

一年中

<特徴>

日本一小さなキツツキで、かれ木に巣を作ります。木の中にあるカミキリムシの幼虫や草につく昆虫、木の実などを食べます。

シジュウカラ（シジュウカラ科）※



<大きさ>

全長 14.5cm

<よく見られる場所>

そうきばやし やしきりん
雑木林や屋敷林

<よく見られる時期>

一年中

<特徴>

平地から山地の林にすみますが、農地、市街地、住宅地などでよく見られます。チョウやガの^{ようちゅう}幼虫、木の^{あな}実などを食べます。木の^{あな}穴に^す巣をつくりませんが、人工的な^{あな}穴にもよくつくりま

カワセミ（カワセミ科）※※



<大きさ>

全長 17 cm

<よく見られる場所>

川や池などの水辺

<よく見られる時期>

一年中

<特徴>

頭や^{つばさ}翼が^{えだ}つやのある緑色で、^{せなか}背中中はコバルト色をしています。エサをとるときは、^{こんちゅう}枝や岩などの上から水面に飛び込んで、魚や水生昆虫などをとりま^すす。巣は、川辺などの土の^{しやめん}がけの^{あな}斜面に穴をほってつくりま

ニホンカナヘビ（カナヘビ科）



<大きさ>

全長 15-27cm

<よく見られる場所>

土手や草丈の低い草原

<よく見られる時期>

春～秋

<特徴>

背中^{せなか}は茶褐色^{ちやかっしょく}で、両わきにはクリーム色のすじが見られます。昆虫類、クモなどを主に食べます。尾^おをつかむと危険^{きけん}を感じて、自ら尾^おを切りはなしてにげていきます。切れた尾^おは、また再生^{さいせい}します。

ヒガシニホントカゲ（トカゲ科）



<大きさ>

全長 15-27cm

<よく見られる場所>

石がきのすきま

<よく見られる時期>

春～秋

<特徴>

大人のオスは褐色^{かっしょく}で、体に茶褐色^{ちやかっしょく}の太いたてじまが入ります。草原や山地にある日当たりのよい斜面^{しゃめん}などに生息します。冬季は日当たりのよい斜面^{しゃめん}や石がきなどで冬眠^{とうみん}します。昆虫類^{こんちゅうるい}、クモ、甲殻類^{こうかくるい}、ミミズなどが主な食べものです。



カエルのなかま

稲城市では、もともと生息していなかったウシガエルを除くと、7種のカエルがすんでいることがわかっています。カエルは種類によって、鳴き声がちがいます。また、好む環境も少しずつちがっています。多くのカエルがすんでいることは、多様な自然環境が残されていることを示しています。



トウキョウダルマガエル

平地の水田や池に生息しています。



ツチガエル

水田・溪流等に生息、水中の泥の中で越冬します。



ニホンアマガエル※

水辺の植物上や樹林に生息しています。



シュレーゲルアオガエル

水田や樹林に生息、水田のあぜなどに産卵します。



ニホンアカガエル※
平地の水田や池に生息しています。



ヤマアカガエル※
きゅうりょうち じゅりん
丘陵地の樹林及び近くの水田・
小川・しっち
湿地等に生息しています。

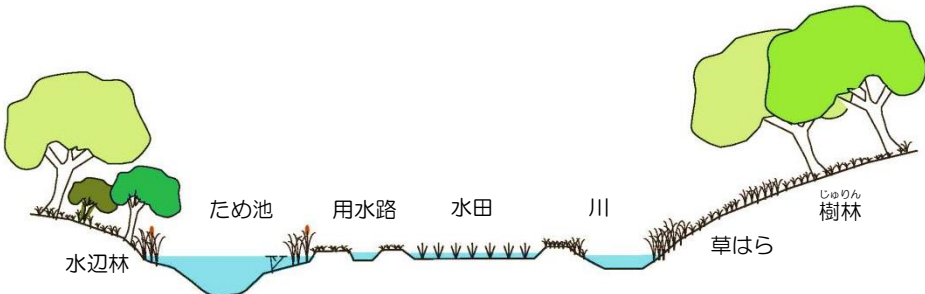


アズマヒキガエル
じゅりん
樹林や草地に生息しています。

稲城市にはいろいろ
かんきょう
な水辺環境が
残っているから、
カエルの種類も多
いんだね。



©K.Okawara・Jet Inoue



みつけたカエルは、どんな場所にいたかな？

ミナミメダカ（メダカ科）※



<大きさ>

全長 4cm

<よく見られる場所>

小川、池、水田や用水路

<よく見られる時期>

春～秋

<特徴>

主に動物プランクトンや石などに付く藻類^{そうらい}などを食べ、水面近くで群れ^むをなして生活しています。水温が20℃を越える4～10月の間に産卵^むします。小川や水路のコンクリート化、農業水路と水田^{ぶんたん}の分断などにともない、生息地域が少なくなっています。

ドジョウ（ドジョウ科）※



<大きさ>

全長 12-18cm

<よく見られる場所>

小川、池、水田や用水路

<よく見られる時期>

春～秋

<特徴>

口元には5対10本のひげがあります。雑食性で、ユスリカの幼虫^{ようちゆう}などを主に食べます。エラ以外に腸でも呼吸^{こきゅう}することができるため、水面から空気^すを吸^{すがた}っている姿がよく見られます。

サワガニ（サワガニ科）



<大きさ>

甲^こらの大きさは2～3cm

<よく見られる場所>

沢、水辺

<よく見られる時期>

春～秋

とくちょう <特徴>

水のきれいな山の谷川や小川に住んでいます。日中は石の下などにひそみ、夜に動き回りますが、雨の日などは日中でも行動します。雨の日には川からはなれて出歩き、川近くの森林や道路上にいることもあります。稲城市では体が青白色、^{かつしよく}褐色、^{むらさき}紫色など、いろいろな色をしたサワガニを見かけます。

カワナナ（カワナナ科）※



<大きさ>

全長3cm

<よく見られる場所>

川・用水路・湖沼

<よく見られる時期>

一年中

とくちょう <特徴>

落ち葉などが積もるような流れがゆるやかな^{かじよ}箇所^{かじよ}に多く見られます。卵ではなく1～1.2mmの殻^{から}をもった^{ちがい}幼貝^{ちがい}を産みます。ゲンジボタルの幼虫の餌^{ようちゆう}になって^{えさ}います。

オオムラサキ（タテハチョウ科）※

オス



<大きさ>

せいぢゆう
成虫は 10～12cm

<よく見られる場所>

じゅりんち
樹林地

<よく見られる時期>

夏



メス

<特徴>

オスのはねの表面は美しいこうたく光沢のあるあおむらさき青紫色をしています。メスはオスより一回り大きく、はねはこげ茶色をしています。ようぢゆう幼虫は、夏から秋にかけてエノキの葉を食べ、エノキの木付近の落ち葉の中で冬をこします。

シオカラトンボ（トンボ科）※

オス



<大きさ>

5～5.5cm

<よく見られる場所>

池や沼、水田

<よく見られる時期>

春～秋



メス

<特徴>

オスは成長するにつれて白色の粉をふきます。メスと未熟なオスは「ムギワラトンボ」とよばれます。ヤゴようぢゆう（幼虫）は田んぼや用水路などで見られます。

ヤマトタマムシ（タマムシ科）



<大きさ>

2.5~4.0cm

<よく見られる場所>

じゅりんち
樹林地

<よく見られる時期>

夏

とくちょう
<特徴>

体は美しい金緑色をしています。高い場所を飛び姿がよく見られます。成虫せいちゅうになるとエサを食べることはありません。幼虫ようちゅうはエノキ、ケヤキ、ハンノキなどの枯れ木かにもぐりこんで、木の内部を食べて育ちます。

トノサマバッタ（バッタ科）※



<大きさ>

3.5~6.5cm

<よく見られる場所>

たけ
草丈の低い草原

<よく見られる時期>

夏~秋

とくちょう
<特徴>

日本でもっとも大きなバッタで、体の色が緑色のものと茶色のものがあります。成虫せいちゅう、幼虫ようちゅうともにイネ科の植物の葉を食べます。メスは卵を土の中に産みつけます。

- マムシ、ハチなど危険な生きものもいるので気を付けてね。
- 水辺に出かける時は大人の人と一緒に！
- 私有地に無断で入らないで！



いなぎ生き

稲城市内で自然にふれ
稲城市にくらす生きもの

① 城山公園



② 大森止乃豆乃天神社 円照寺・普門庵



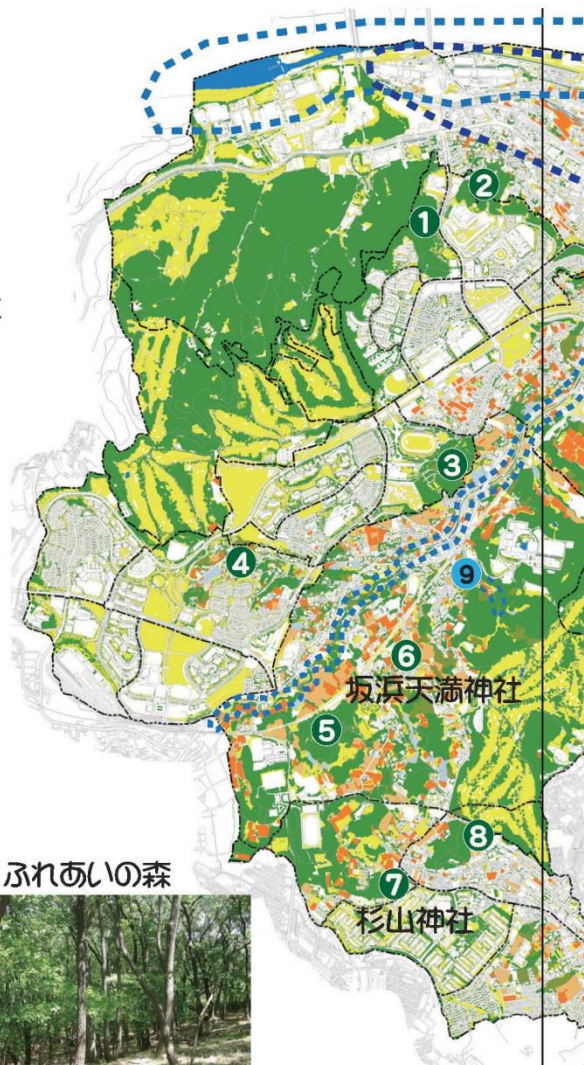
③ 稲城中央公園



④ 上谷戸親水公園



⑤ ふれあいの森



きもの環境マップ

にふれあえる公園などをご紹介します。
 ものたちに、会いに出かけてみませんか？



めおとぎか
8 夫婦坂公園

9 清水谷戸川



14 多摩川



13 大丸用水



12 穴澤天神社



11 三沢川



10 妙見寺



凡例

- 樹木・樹林
- 竹林
- 樹木・樹林 (人工面)
- 草地
- 草地 (人工面)
- 畑
- 果樹園・苗圃
- 田
- 水面



1:25,000

0 250 500 1,000 m



©K.Okawara・Jet Inoue

稲城なしのすけは、「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)の「生物多様性キャラクター応援団」の団員に登録しています。

稲城市生きものフォト調査-市民調査マニュアル-

発行者：稲城市

〒206-8601

東京都稲城市東長沼 2111

TEL：042-378-2111(代表)

編集：稲城市 環境課

(公財) 日本生態系協会